

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式														
E132L003	技術科授業研究(中等) (Studies in Teaching of Industrial Arts (Junior High School))																				
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員															
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 市原靖士, 中原久志, 萩嶺直孝, 杉山昇太郎  E-mail ichihara-yasushi@oita-u.ac.jp(市原), nakaharah@oita-u.ac.jp(中原), hagimine@oita-u.															
授業の概要	技術分野の内容AからDについて, その学習内容を理解するために, それぞれの内容を研究する。その際, 情報機器を活用した学習活動についても取り扱う。																				
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
目標1	中学校技術・家庭科技術分野における実践的指導力を身に付ける。																				
目標2	授業に関する理論と実践の往還をめざし, 各学習内容とその指導内容に関して理解する。																				
目標3																					
目標4																					
目標5																					
目標6																					
目標7																					
目標8																					
目標9																					
目標10																					
授業の内容																					
1 オリエンテーション(担当: 中原)																					
2 ガイダンス的な内容(担当: 中原)																					
3 内容「A 材料と加工の技術」 社会で活用されている技術(担当: 中原)																					
4 内容「A 材料と加工の技術」 材料と工具, 加工法(担当: 中原)																					
5 内容「A 材料と加工の技術」 製作品の構想・設計・製作・評価(担当: 中原)																					
6 内容「B 生物育成の技術」 生物の生育環境(担当: 市原)																					
7 内容「B 生物育成の技術」 生物の育成技術(担当: 市原)																					
8 内容「B 生物育成の技術」 生物の育成計画と実施(担当: 市原)																					
9 内容「C エネルギー変換の技術」 機器の仕組み(担当: 萩嶺)																					
10 内容「C エネルギー変換の技術」 機器の保守点検(担当: 萩嶺)																					
11 内容「C エネルギー変換の技術」 製作品の設計・製作(担当: 萩嶺)																					
12 内容「D 情報の技術」 情報通信ネットワークと情報モラル(担当: 杉山)																					
13 内容「D 情報の技術」 双方向性のあるプログラミング(担当: 杉山)																					
14 内容「D 情報の技術」 プログラムによる計測・制御(担当: 杉山)																					
15 技術の評価・判断力の育成(担当: 市原)																					
ラーニング	A:知識の定着・確認	調査, 発表及び討論を行う				工夫	具体的な中学校技術科における授業・実践事例について取り扱う				その										
	B:意見の表現・交換					夫					他										
	C:応用志向																				
	D:知識の活用・創造																				
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	中学校技術・家庭科(技術分野)の教科書を熟読する(30h)																			
	事後学修	課題レポートを作成する(30h)																			
教科書	中学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省) 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編(平成29年6月 文部科学省) 教科書: 技術・家庭技術分野(開隆堂), 新しい技術・家庭技術分野(東京書籍)																				
参考書	新技術科教育総論(日本産業技術教育学会技術教育分科会編)																				
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10									
	受講態度	30%																			
	課題レポート	40%																			
	最終試験	30%																			
注意事項	なし																				
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。																				
リンク																					
	URL																				